

原単位の改善のための取組に関する状況【2024年度提出分(2023年度実績)】※非特定事業者用

松阪可鍛株式会社

銘柄コード 1111
法人番号 8190001010550

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	22	鉄鋼業
細分類 (申請事業)	2251	鉄鉄鋳物製造業
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

エネルギー総使用量	42,534	GJ	1,097	kℓ
該当なし				

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業におけるエネルギー消費原単位 (2023年度実績)	5.26	原単位分母 売上高			
主たる事業の構成割合		100.0	%		
事業者全体のエネルギー消費原単位 対前年度比	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		6.65	6.44	5.71	5.26
事業者全体の5年度間平均原単位変化(%)	95.4				

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】

種別	合計量
	該当なし

※主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方にに基づき各事業者が決定したものである。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における電気需要最適化評価原単位 (2023年度実績)	該当なし
DR実施日数	
事業者全体の電気需要最適化評価原単位 対前年度比	
事業者全体の5年度間平均原単位変化	

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	50.0%				
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					17.35%

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分	該当なし
目指すべき水準	
ベンチマーク指標の状況	
ベンチマーク区分	
目指すべき水準	
ベンチマーク指標の状況	
ベンチマーク区分	
目指すべき水準	
ベンチマーク指標の状況	
ベンチマーク区分	
目指すべき水準	
ベンチマーク指標の状況	

目安設定業種	該当なし
目安(2030年度)	
目標(2030年度)	
直近5年度間の実績値	
目安設定業種	
目安(2030年度)	
目標(2030年度)	
直近5年度間の実績値	

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項
1日の稼働時間に見直しによる溶解稼働日の削減でのエネルギー使用量の削減。工場内の照明をLED化する事で電気の使用量の減少。

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項
非化石電気メニューへの転換。

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)

2. 関連リンク

(タイトル)	:
(タイトル)	:
(タイトル)	:

(注意事項)

- 赤枠囲み欄は必須記載です。
- 再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。

